

令和6年度 杜の都エコ・スクール活動報告

学校番号	58	学校名	仙台市立袋原小学校	校長名	井上 竜一
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル，テーマ

「袋原小のビオトープ～持続可能な清流整備～」



2 取組紹介

(1) 持続可能な清流を願う

校地内に循環機能により地下水が流れる清流があります。米作りのスペースもあり、「袋原小ビオトープ」と名付けられています。地下水を使い、植物の成長実験も行いました。開校より地域と連携して整備してきた自然環境ですが、ビオトープの清流を維持するためにかいぼりを行いました。

(ビオトープに流れる清流の全体の様子)

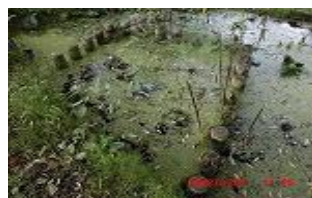


3 取組の成果

(1) 清流を維持する活動「かいぼり」

昨年度ビオトープの環境を一新しようと、年度替わりに清流の水を抜きました。水を抜くことにより小動物の命を全て守り切れなかったこともあります。底にいる巻貝などの生物は生息できていました。

新年度となり、4学年の理科の時間を活用して清流にたまった泥や不純物などを100人近い児童の力を合わせ取り除きました。特別支援学級の児童との交流も意識して活動を行いました。



児童は、多くの砂利を運び、元通りの清流に戻すように協力しました。そのかいもあり、元の清流に戻りました。しかし、小動物がかなり減ってしまっていました。

(2) 今後の取組

今後、この袋原地区に合った生き物が生息できるように心掛けていきたいと思っています。以前ホタルの生息を望みましたが、叶いませんでした。今後も環境を持続し、動植物の観察を行い、児童にとって身近な自然環境となるよう整備を続けていきます。